



『現代の政策を科学するⅡ』

“Today's Social Sciences in Practice Ⅱ”

<シンポジウムの概要>

日本のみならず、今日ほど科学・技術と政策のありかたを追求すべき時代はない。然るに、社会問題の真因を特定しないまま、歴史の評価には堪え得ないのである政策が横行する昨今、経済学、行政学といった社会科学の知見が充分には活用されていないことを危惧する。

このような危機感のもと、シリーズ2回目の今年度は次の諸側面を検討する。

1. 一般(不)均衡論、産業組織論、経済開発論といった理論分析が着目する社会の諸特性；その示唆に基づく、資源配分機能を活用する「市場化」の広範囲化の評価。
2. 極端に画一的なグローバル化信仰から各国の国内利害追求の余地を残した「持続可能な」グローバル化へ。
3. 幾つかの事例をもとに、緊張感ある政と官の関係とはどうあるべきか。

平成29年10月21日(土) 13:30~17:30(開場13:00)

二松學舎大学九段キャンパス1号館 202教室

※参加無料、事前申込不要、一般来場歓迎

タイムテーブル

13:30 開会挨拶：中山 政義 (国際政治経済学部長)

13:40 学長挨拶：菅原 淳子 (二松學舎大学学長・国際政治経済学部教授)

13:50 講演1：『経済理論が政策論に示唆するもの』

— 市場、組織および国際関係に内在する「折衷」と「補完」の観点 —

野村 芳正 (東アジア学術総合研究所特命教授・千葉大学名誉教授)

14:30 講演2：『グローバル化は民主主義を破壊するのか』

— 石油ショック時の田中角栄の対応から現代の政策を見る —

佐藤 晋 (国際政治経済学部教授)

(休憩)

15:30 講演3：『政権主導と官僚制 — 政策決定システムに問われるもの —』

新藤 宗幸 (後藤・安田記念東京都市研究所理事長・千葉大学名誉教授)

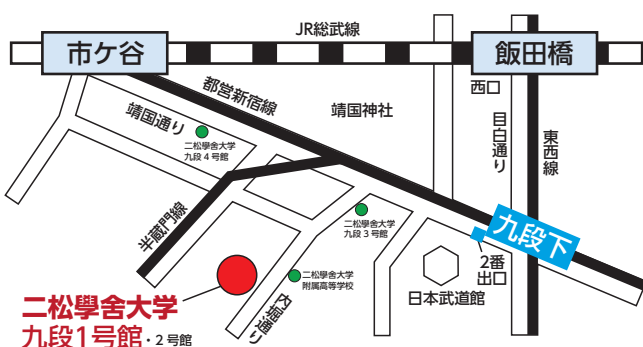
16:40 討論会：(ディスカッサント) 高野 和基 (副学長・国際政治経済学部教授)

渡辺 和則 (国際政治経済学部教授)

田村 紀之 (国際政治経済学部客員教授・都立大学名誉教授)

(DC・総司会) 田端 克至 (国際政治経済学部教授)

17:20 閉会挨拶：牧角 悦子 (東アジア学術総合研究所長・文学部教授)



<お問い合わせ>

二松學舎大学
東アジア学術総合研究所

TEL 03-3261-3535

◎東京メトロ 東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分

◎JR「市ヶ谷」「飯田橋」駅下車、徒歩15分

※会場には駐車場がありません。お車でのご来場はご遠慮ください。